



世界トップクラスを目指す国際フォワード

---

---

# 2021年2月期 第2四半期 決算補足資料

2020年10月12日

株式会社エーアイテイー

東証第一部

【証券コード 9381】

---

---

# 目 次

## ● 業績概要（2021年2月期 第2四半期決算概要）

・ 2021年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要-1~3	頁
業績ハイライト	4
事業項目別比較—営業収益・売上総利益	5
販売費及び一般管理費 増減詳細	6
・ セグメントの概要	7
・ 2021年2月期 第2四半期連結業績予想比較	8
・ 海上輸送コンテナ本数・通関受注件数推移	9

## ● 業績見通し（2021年2月期 通期見通し）

・ 2021年2月期 通期見通し	
連結業績	11
経営指標	12

業 績 概 要  
(2021年2月期 第2四半期決算概要)



## 2021年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要-1



### ■ 業績ハイライト

～ 前年同期比較 ～

(単位:百万円)

	2020年2月期 第2四半期累計期間		2021年2月期 第2四半期累計期間		前年同期比増減	
	金額	営業収益 比率	金額	営業収益 比率	金額	前年同期比
営業収益	22,451	100.0%	21,581	100.0%	△870	△3.9%
売上総利益	4,046	18.0%	3,854	17.9%	△191	△4.7%
(販売費及び 一般管理費) <sup>(注)</sup>	(3,304)	(14.7%)	(2,970)	(13.8%)	(△334)	(△10.1%)
営業利益 <sup>(注)</sup>	741	3.3%	883	4.1%	+142	+19.2%
経常利益 <sup>(注)</sup>	926	4.1%	1,051	4.9%	+124	+13.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 <sup>(注)</sup>	643	2.9%	716	3.3%	+72	+11.3%

(注) 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年2月期第2四半期累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

- 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により在宅時間が増加。それにより、日常の生活に欠かせない日用品や生活雑貨、生活家電品等の取扱いは堅調であったが、アパレル関連の取扱いは厳しさを増し、低調な推移となった。また、中国では春節休暇の延長から収益機会が減少。これらにより、営業収益、売上総利益は前年同期を下回る結果となった。
- テレワークの導入やオンラインによるWeb商談等を積極的に用いて、人件費や事業活動に掛かる費用の圧縮に努めたことで、販売費及び一般管理費は前年同期を大きく下回り、その結果、営業利益以下の段階利益は、前年同期を上回る結果となった。



## 2021年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要-2



### ■ 事業項目別比較-営業収益・売上総利益【前年同期比較】

(単位:百万円)

【営業収益】		2020年2月 第2四半期累計期間		2021年2月期 第2四半期累計期間		増減額	増減 内訳額	増減内訳
		金額	構成比	金額	構成比			
単 体	海上輸送	7,574	33.7%	8,100	37.5%	+526	△57 +368 +215	為替の影響(1USD 110.21円⇒108.20円) 販売価格の上昇 貨物量の増加(単体:+2,993TEU)
	航空輸送	296	1.3%	224	1.1%	△71	△3 +64 △133	為替の影響 販売価格の上昇 貨物量の減少
	通関	2,538	11.3%	2,377	11.0%	△160	△160	受注件数は減少(単体:△4,005件)も 配送費等の単価は上昇
	その他	774	3.5%	727	3.4%	△46	△46	3PLなどの収益減少
子会社(注)		11,268	50.2%	10,150	47.0%	△1,117	△1,068 △49	日新運輸及び同社子会社分 上記以外(従来の当社子会社)
合計		22,451	100.0%	21,581	100.0%	△870		

(単位:百万円)

【売上総利益】		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減 内訳額	増減内訳
単 体	海上輸送	1,221	25.4%	1,311	28.4%	+90	△10 +368 △303	為替の影響 販売価格の上昇要因 仕入価格の上昇要因
	航空輸送	67	1.4%	40	0.9%	△27	+35 △1 +64 △60	貨物量の増加 為替の影響 販売価格の上昇要因 仕入価格の上昇要因
	通関	668	13.9%	691	15.0%	+22	△30 +22	貨物量の減少 外注の減少、配送費等の価格転嫁
	その他	73	1.5%	65	1.4%	△7	△7	受注の増加
子会社(注)		2,783	57.8%	2,509	54.3%	△274	△294 +20	日新運輸及び同社子会社分 上記以外(従来の当社子会社)
小計		4,814	100.0%	4,617	100.0%	△197		
販売管理費⇒原価へ振替		△768		△762		+5		
合計		4,046		3,854		△191		

(注) 子会社にてセグメント情報における日本の「セグメント間の内部営業収益又は振替高」を減算しております。



## 2021年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要-3



### ■ 販売費及び一般管理費 増減詳細 (前年同期比較)

(単位:百万円)

	2020年2月期 第2四半期累計期間		2021年2月期 第2四半期累計期間		増減額
	金額	営業収益比率	金額	営業収益比率	
営業収益	22,451	100.0%	21,581	100.0%	前年同期比 0.1pt低下 △870
売上総利益	4,046	18.0%	3,854	17.9%	△191
販売費及び一般管理費 合計(注)	3,304	14.7%	2,970	13.8%	前年同期比 0.9pt低下 △334
(内 人件費)	2,042	9.1%	1,859	8.6%	△183
(内 販売費)	232	1.0%	150	0.7%	△81
(内 固定費)(注)	1,029	4.6%	960	4.5%	前年同期比 0.8pt上昇 △68
営業利益(注)	741	3.3%	883	4.1%	+142

(注) 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年2月期第2四半期累計期間に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

- テレワークの導入等によって、主に人件費が中心となり、費用が減少。また、web面談等の活用により、営業活動に掛かる費用も減少。加えて、その他事業活動に掛かる費用の圧縮にも取り組み、販売費及び一般管理費は前年同期を大きく下回ることとなった。
- 人員数はグループ全体で126名(内 臨時従業員は79名)減少。(営業原価として計上している人員数も含む)

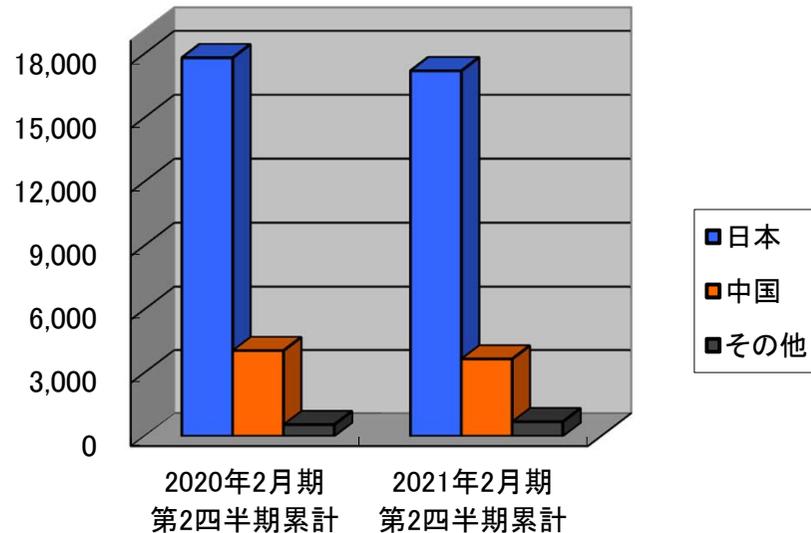


# セグメントの概要



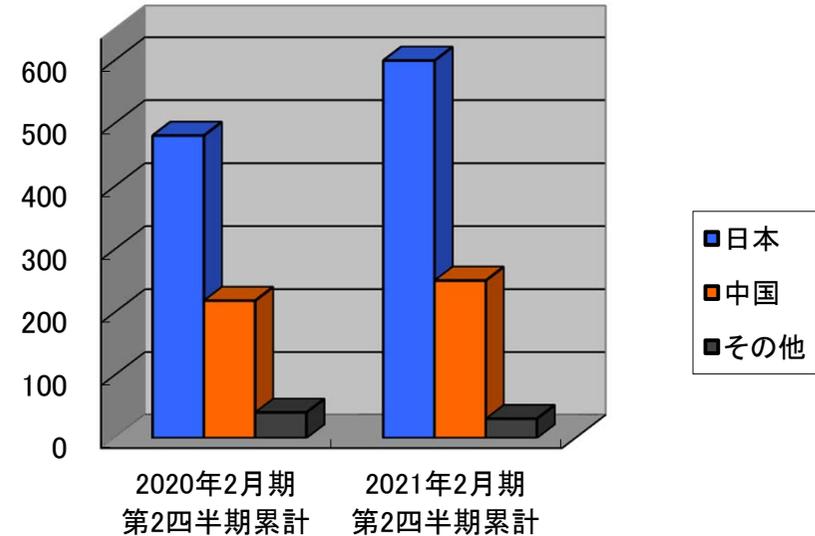
## (営業収益)

(単位:百万円)



## (営業利益)

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	2020年2月期 第2四半期累計	2021年2月期 第2四半期累計	増減
(注1)	金額	金額	金額
日本	17,829	17,216	△612
中国 (注2)	4,067	3,670	△397
その他 (注3)	554	693	+139
合計	22,451	21,581	△870

(単位:百万円)

	2020年2月期 第2四半期累計	2021年2月期 第2四半期累計	増減
(注1)	金額	金額	金額
日本	481	600	+119
中国 (注2)	219	251	+32
その他 (注3)	41	31	△9
合計	741	883	+142

(注)1. 「日本」、「中国」の2つを報告セグメントとしております。

2. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人となります。

3. 「その他」の区分は、米国、台湾、ベトナム及びミャンマーの現地法人となります。

4. 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年2月期第2四半期累計期間の営業利益は、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。



# 2021年2月期 第2四半期連結業績予想比較



## ■ 営業収益(売上高)及び損益関係 ～ 予想比較 ～

(単位:百万円)

	2021年2月期 第2四半期累計				予想比 増減	
	予想値 (2020年7月13日公表値)		実績			
	金額	営業収益比率	金額	営業収益比率	金額	予想比
営業収益	21,900	100.0%	21,581	100.0%	△318	△1.5%
売上総利益	3,830	17.5%	3,854	17.9%	+24	+0.6%
(販売費及び一般管理費)	(3,050)	(13.9%)	(2,970)	(13.8%)	△79	(△2.6%)
営業利益	780	3.6%	883	4.1%	+103	+13.3%
経常利益	940	4.3%	1,051	4.9%	+111	+11.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	660	3.0%	716	3.3%	+56	+8.5%

### 【主な増加・減少要因】

#### 営業収益

想定よりも△318百万円となった要因：

〈以下①～⑤は単体ベース〉

- ①輸送貨物量の達成 **+84百万円**  
【海上+121百万円、航空△37百万円】  
【海上貨物予想 111,200TEU → 112,893TEU 約T+1,700EU】
  - ②通関関連 **△219百万円**  
【通関件数予想 41,200件 → 37,766件 約△3,400件】
  - ③為替要因 **+6百万円**  
【1米ドル予想為替 108.00円 → 実績108.20円 +0.20円】
  - ④価格要因【販売価格】 **△131百万円**  
【海上△146百万円、航空+15百万円】
  - ⑤その他要因(3PL事業等) **△44百万円**
  - ⑥子会社要因で **△14百万円**
- 合計△318百万円**

#### 売上総利益

想定よりも+24百万円となった要因：

〈以下①～⑥は単体ベース〉

- ①輸送貨物量の達成 **+12百万円**  
【海上輸送+19百万円、航空△7百万円】
- ②通関関連 **△29百万円**
- ③為替要因 **+1百万円**
- ④価格要因【販売価格と仕入価格の関係】  
**+20百万円**【海上+20百万円、航空△0百万円】
- ⑤その他 **△7百万円**
- ⑥国際貨物輸送、通関業務及び配送に係る部門費 **+47百万円**
- ⑦子会社要因 **△20百万円** **合計+24百万円**

#### 販売費及び一般管理費

期初想定よりも、△79百万円になった主な要因：

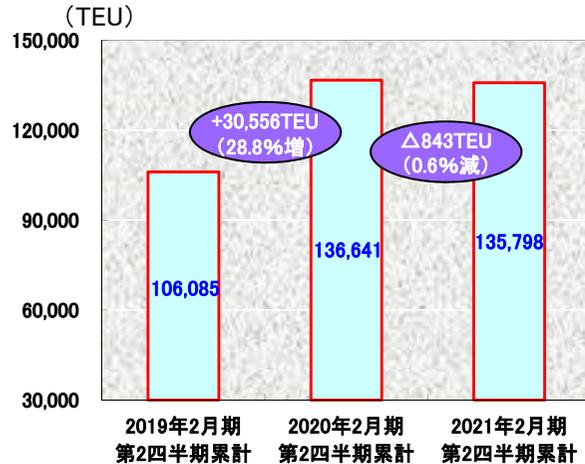
人件費 **△97百万円**、販売費 **△4百万円**、固定費 **+22百万円**



# 海上輸送コンテナ本数・通関受注件数推移



## ■ 取扱い海上輸送コンテナ本数推移

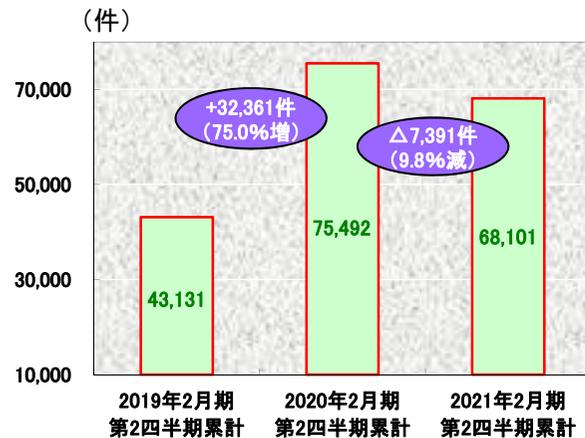


(単位: 本数=TEU)

	2019年2月期 第2四半期累計 (当社)			2020年2月期 第2四半期累計 (当社+日新運輸と同社子会社分)			2021年2月期 第2四半期累計 (当社+日新運輸と同社子会社分)		
	本数	増減数	増減比	本数	増減数	増減比	本数	増減数	増減比
輸入	99,856	+1,865	+1.9%	128,088	+28,232	+28.3%	129,385	+1,297	+1.0%
輸出	6,229	+1,986	+46.8%	8,553	+2,324	+37.3%	6,413	△2,140	△25.0%
合計	106,085	+3,851	+3.8%	136,641	+30,556	+28.8%	135,798	△843	△0.6%

(注) 2020年4月1日付にて、日新運輸株式会社を存続会社とし、同社の子会社であるニッシントランスコンソリデーター株式会社を消滅会社とする吸収合併を行っております。

## ■ 通関受注件数推移



(単位: 件)

	2019年2月期 第2四半期累計 (当社)			2020年2月期 第2四半期累計 (当社+日新運輸)			2021年2月期 第2四半期累計 (当社+日新運輸)		
	件数	増減数	増減比	件数	増減数	増減比	件数	増減数	増減比
輸入	39,357	△619	△1.5%	62,173	+22,816	+58.0%	57,359	△4,814	△7.7%
輸出	3,774	+510	+15.6%	13,319	+9,545	+252.9%	10,742	△2,577	△19.3%
合計	43,131	△109	△0.3%	75,492	+32,361	+75.0%	68,101	△7,391	△9.8%

業 績 見 通 し  
(2021年2月期 通期見通し)



## 2021年2月期 通期見通し—業績



### ■ 連結業績

(単位:百万円)

		2020年2月期 (実績)	営業収益比	2021年2月期 (実績・予想)	営業収益比	増減金額	前年同期比
上期	営業収益	22,451	100.0%	21,581	100.0%	△870	△3.9%
	営業利益 (注)	741	3.3%	883	4.1%	+142	+19.2%
	経常利益 (注)	926	4.1%	1,051	4.9%	+124	+13.4%
	親会社株主に帰属する 四半期純利益 (注)	643	2.9%	716	3.3%	+72	+11.3%
通期	営業収益	45,003	100.0%	45,500	100.0%	+496	+1.1%
	営業利益	1,575	3.5%	1,765	3.9%	+189	+12.0%
	経常利益	1,947	4.3%	2,045	4.5%	+97	+5.0%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	1,325	2.9%	1,420	3.1%	+94	+7.1%

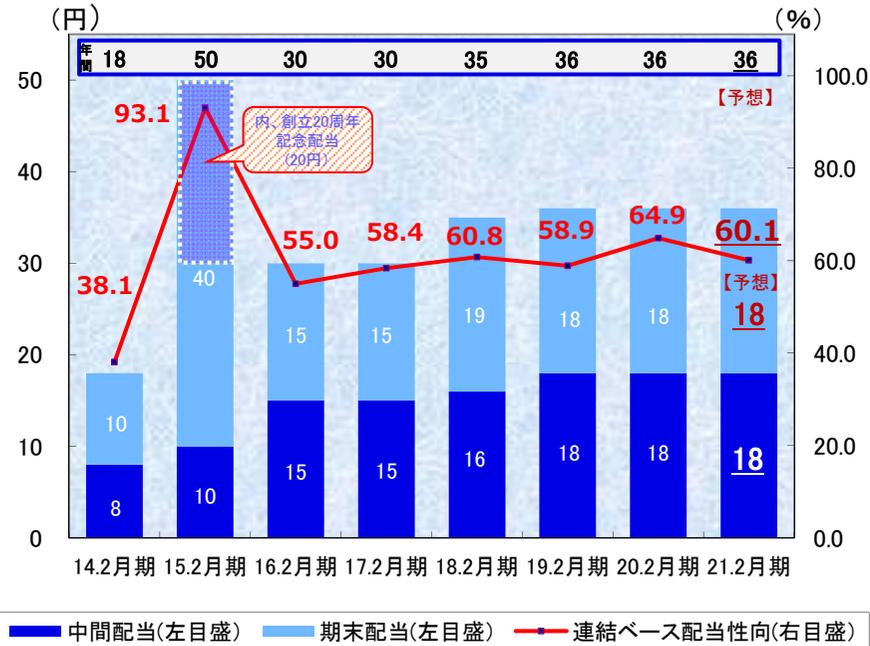
(注) 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年2月期上期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。



# 2021年2月期 通期見通し—経営指標



## ■ 1株当たり年間配当金、及び連結ベース配当性向 (注)



## ■ 連結ベース 1株当たり当期純利益 (注)



- (注) 1. 当社は2019年3月1日付の日新運輸株式会社との株式交換に伴い、交付する4,800,000株の内、4,159,200株は新株発行を行い、残り640,800株は自己株式を充当しております。また、当社は、2019年11月19日開催の取締役会決議に基づき、2020年2月28日までの間に自己株式146,700株の取得を行いました。これらにより、2020年2月期の1株当たり当期純利益については、期中平均株式数23,892,292株にて算定しております。
2. 2021年2月期「連結ベース配当性向」の予想及び「1株当たり当期純利益」の予想については、2019年11月19日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得の影響を考慮しております。
3. 当社は、2020年7月13日開催の取締役会において、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。なお、2021年2月期「連結ベース配当性向」の予想及び「1株当たり当期純利益」の予想については、当該事項による影響を考慮しておりません。

### 【2021年2月期】

- 中間配当..... 1株当たり18円で実施。
- 期末配当予想... 1株当たり18円の予想。



【年間配当予想】  
1株当たり36円



**【お問合せ先】 経理財務部 財務課**  
**TEL:06-6260-3486 FAX:06-6260-3460**

――本資料取扱い上の注意――

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確実性の要素を含んでおります。従いまして、通常予測し得ないような特別事情の発生や通常予測し得ないような結果の発生などにより、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

よって投資家の皆様につきましては、本資料の将来見通しのみには依拠することなく、投資に関するご決定は皆様自身のご判断で行っていただきますようお願いいたします。

なお、本資料で使用するデータ及び表現の欠落・誤謬等に関しましてもその責を負いかねますのでご了承ください。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。